

県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査5回目）】」実施状況

I 調査概要

1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺の状態を把握するための先行検査及び甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2回目、検査3回目、検査4回目）に引き続き、本格検査（検査5回目）を実施する。

2. 対象者

震災時福島県にお住いの概ね18歳以下であった全県民（平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民）

3. 実施期間

令和2年4月から（令和2年度～令和4年度）

(1) 18歳以下の対象者

令和2年度から令和4年度の3か年で実施

(2) 19歳以上の対象者

年齢（学年）ごとに実施

令和2年度：平成10年度、12年度生まれの方

令和3年度：平成11年度、13年度生まれの方

令和4年度：該当年度なし

(3) 25歳時の節目の検査対象者

20歳を超えた方は、5年ごとの節目の検査を実施

令和2年度：平成7年度生まれの方

令和3年度：平成8年度生まれの方

令和4年度：平成9年度生まれの方

なお、報告については別途行う。

4. 実施機関（令和2年9月30日現在の協定締結数）

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。

(1) 一次検査

(i) 県内検査実施機関 84か所

(ii) 県外検査実施機関 125か所

(2) 二次検査

(i) 県内検査実施機関 5か所（福島県立医科大学を含む）

(ii) 県外検査実施機関 37か所

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

- (i) A判定：(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合
 (A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合
- (ii) B判定：5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合
 A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した場合も含む。
- (iii) C判定：甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合

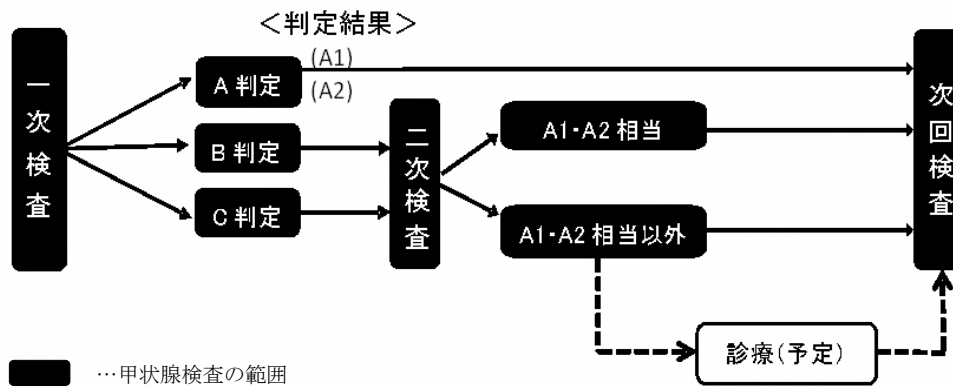
(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。

なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

(3) 検査の流れ

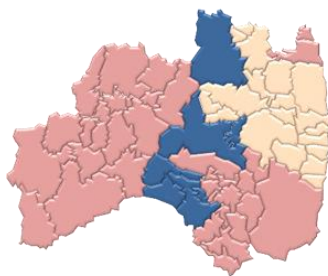
図1.検査の流れ



6. 実施対象年度別市町村

令和2年度～令和4年度の各実施対象市町村は次のとおり。（18歳以下の対象者）

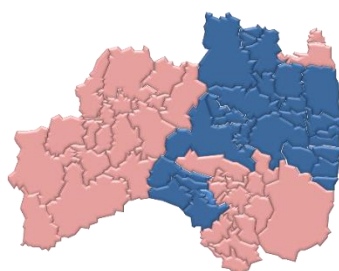
図2. 実施対象年度別市町村(県内小中学校)



- 令和2年度一次検査実施市町村（18市町村）
- 令和3年度一次検査実施市町村（7市町村）
- 令和4年度一次検査実施市町村（34市町村）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度分の小中学校における検査については、令和2年9月から開始された。

図3. 実施対象年度別市町村(県内高等学校等)



- 令和3年度一次検査実施市町村（25市町村）
- 令和4年度一次検査実施市町村（34市町村）

なお、集計については当初計画の2か年度ごとに集計する。

II 調査結果概要（令和2年9月30日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

令和2年9月30日までに3,070人（1.2%）の検査を実施した。

そのうち、2,138人（69.6%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送した。

検査結果はA1判定の方が747人（34.9%）、A2判定の方が1,365人（63.8%）、B判定の方が26人（1.2%）、C判定の方は0人であった。

表1.一次検査進捗状況

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)			
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))			
					A		二次検査対象者	
					A1	エ(エ/ウ)	A2	オ(オ/ウ)
令和2年度 (2020年度) 実施対象市町村計	144,845	2,395 (1.7)	1,410	1,615 (67.4)	582 (36.0)	1,015 (62.8)	18 (1.1)	0 (0.0)
令和3年度 (2021年度) 実施対象市町村計	107,983	675 (0.6)	87	523 (77.5)	165 (31.5)	350 (66.9)	8 (1.5)	0 (0.0)
合計	252,828	3,070 (1.2)	1,497	2,138 (69.6)	747 (34.9)	1,365 (63.8)	26 (1.2)	0 (0.0)

表2.結節・のう胞の人数・割合

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
令和2年度 (2020年度) 実施対象市町村計	1,615	18 (1.1)	15 (0.9)	0 (0.0)	1,019 (63.1)
令和3年度 (2021年度) 実施対象市町村計	523	8 (1.5)	9 (1.7)	0 (0.0)	356 (68.1)
合計	2,138	26 (1.2)	24 (1.1)	0 (0.0)	1,375 (64.3)

- ・小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入を行っている。以降の表も同様である。
- ・5年ごとの節目に検査を行う対象者（平成4年度～平成9年度生まれ）を除いている。節目の検査対象者については、別途、計上する。
- ・平成4年度生まれの対象者（約23,000人）は平成29年度、平成5年度生まれの対象者（約22,000人）は平成30年度、平成6年度生まれの対象者（約22,000人）は平成31年度（令和元年度）、平成7年度生まれの対象者（約21,000人）は令和2年度、平成8年度生まれの対象者（約21,000人）は令和3年度、平成9年度生まれの対象者（約20,000人）は令和4年度に検査を実施する。

(2) 年齢階級別受診率

各年度4月1日時点の年齢階級別の受診率は表3のとおり。

表3.実施対象市町村における年齢階級別受診率

		計	年齢階級別内訳		
			8～11歳	12～17歳	18～24歳
令和2年度(2020年度) 実施対象市町村計	年齢階級 注		8～11歳	12～17歳	18～24歳
	対象者数(人) ア	144,845	37,048	61,908	45,889
	受診者数(人) イ	2,395	608	706	1,081
	受診率(%) イ/ア	1.7	1.6	1.1	2.4
令和3年度(2021年度) 実施対象市町村計	年齢階級 注		9～11歳	12～17歳	18～24歳
	対象者数(人) ア	107,983	19,719	45,057	43,207
	受診者数(人) イ	675	4	8	663
	受診率(%) イ/ア	0.6	0.0	0.0	1.5
合 計	対象者数(人) ア	252,828	56,767	106,965	89,096
	受診者数(人) イ	3,070	612	714	1,744
	受診率(%) イ/ア	1.2	1.1	0.7	2.0

注 年齢階級は、各年度4月1日時点の年齢。

(3) 本格検査(検査4回目)結果との比較

本格検査(検査5回目)を受診した方の本格検査(検査4回目)結果との比較については表4のとおり。

検査4回目でA判定(A1及びA2判定)と判断された1,731人のうち、検査5回目でA判定(A1及びA2判定)は1,720人(99.4%)、B判定は11人(0.6%)であった。

また、検査4回目でB判定と判断された15人のうち、検査5回目でA判定(A1及びA2判定)は4人(26.7%)、B判定は11人(73.3%)であった。

表4.本格検査(検査4回目)結果との比較

		本格検査 (検査4回目)結果 計 注1	本格検査(検査5回目)結果内訳 注2				
			A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			
本格検査 (検査4回目) 検査結果	A	A1	591 (100.0)	476 (80.5)	113 (19.1)	2 (0.3)	0 (0.0)
		A2	1,140 (100.0)	132 (11.6)	999 (87.6)	9 (0.8)	0 (0.0)
	B	15 (100.0)	1 (6.7)	3 (20.0)	11 (73.3)	0 (0.0)	
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	受診なし	392 (100.0)	138 (35.2)	250 (63.8)	4 (1.0)	0 (0.0)	
計		2,138 (100.0)	747 (34.9)	1,365 (63.8)	26 (1.2)	0 (0.0)	

注1 上段は検査5回目結果確定者の検査4回目検査結果(人)。検査4回目結果総数の内訳ではない。

注2 上段は検査4回目結果に対する検査5回目の検査結果内訳(人)。下段は割合(%)。

2. こころのケア・サポート

検査対象者へのこころのケア・サポートとして、次の取組を行っている。

(1) 一次検査のサポートについて

甲状腺検査対象者に対して、公共施設等の一般会場では、検査結果説明ブースにおいて、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら結果の説明を行った。

令和2年4月以降、令和2年9月30日現在で、全会場で検査結果説明ブースを設置し、受診者275人のうち275人（100％）が利用した。

(2) 出張説明会・出前授業について

検査対象者や保護者に対して甲状腺検査の理解を深めるため、出張説明会や出前授業を実施した。

令和2年4月以降、令和2年9月30日現在で、2会場で180人に対して説明等を行った。

なお、延べ人数は15,266人となっている。